



2023年5月9日

各 位

会 社 名 マックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒沢 光照
(コード番号 6454 東証プライム)
問合せ先 常務取締役上席執行役員 角 芳尋
(T E L 03-3669-8106)

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2022年7月29日に開示いたしました「2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします(訂正箇所は____線で示しております)。また、数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、記載内容について一部誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正の内容

(1) 添付資料4ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 財政状態に関する説明

【訂正前】

キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が2千9百万円減少したことにより、232億7千2百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、12億3千万円となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が30億5千2百万円、減価償却費が7億2千2百万円、一方で主な減少は、賞与引当金の増減額が7億6千4百万円、法人税等の支払額が16億9千9百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、4億9千4百万円となりました。主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が11億円、一方で主な減少は、有形固定資産の取得による支出が5億1千4百万円です。

【訂正後】

キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が2千5百万円減少したことにより、224億1千万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、12億3千万円となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が30億5千2百万円、減価償却費が7億2千2百万円、一方で主な減少は、賞与引当金の増減額が7億6千4百万円、法人税等の支払額が16億9千9百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、5億4千8百万円となりました。主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が11億円、一方で主な減少は、有形固定資産の取得による支出が5億1千4百万円です。

(2) 添付資料 10, 11 ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

	(単位:百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△601	△0
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	500	1,100
有形固定資産の取得による支出	△2,045	△514
有形固定資産の除却による支出	—	△9
有形固定資産の売却による収入	1	4
無形固定資産の取得による支出	△53	△97
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	10	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,189	494
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,288	△2,807
リース債務の返済による支出	△64	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,353	△2,877
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	1,122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,304	△29
現金及び現金同等物の期首残高	21,421	23,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,117	23,272

【訂正後】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	<u>△142</u>
定期預金の払戻による収入	—	<u>196</u>
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△601	<u>△0</u>
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	500	<u>1,100</u>
有形固定資産の取得による支出	△2,045	<u>△514</u>
有形固定資産の除却による支出	—	<u>△9</u>
有形固定資産の売却による収入	1	<u>4</u>
無形固定資産の取得による支出	△53	<u>△97</u>
貸付けによる支出	△0	<u>—</u>
貸付金の回収による収入	10	<u>13</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△2,189</u>	<u>548</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	<u>△0</u>
配当金の支払額	△2,288	<u>△2,807</u>
リース債務の返済による支出	△64	<u>△70</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△2,353</u>	<u>△2,877</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	<u>1,073</u>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,304	<u>△25</u>
現金及び現金同等物の期首残高	21,421	<u>22,435</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,117	<u>22,410</u>

以上